

出前講座

所沢市の「みどり」と「生物多様性」

2024-09-24 記 岡戸房子

- 実施日 2024-09-19 ■参加者 31名（内ところざわ倶楽部1名）
■場所 中央公民館第1,第2学習室 ■講師 みどり自然課 岩崎博司・児玉治彦氏

はじめに

所沢市は昭和25年11月市制誕生以来、東京近郊のベッドタウンとして34万人以上の人口を有し、駅周辺は都市化が進み、農地・樹林など宅地化がされ、緑地が減少している。そのような環境の中いかに自然を守ることができるか。

みどり自然課では、みどりの現況調査・みどりの取り組み・自然を守るため、生き物の多様性を保護、観察することなどを行っている。以下、所沢のみどり基本方針をパワーポイントによるプレゼンテーションで学習した。



本日の講義は以下の通り

- 1 みどりの基本計画について
 - 2 みどりの現況
 - 3 みどりの取り組み
 - 4 生き物の多様性
-
- 1 みどりの基本理念（みどりの「基本計画」より）市内に住み、働き、学ぶ人たちの協働でふるさとの自然を保全、再生し、つなぎ合わせ「元気あふれる」みどりのまちをつくり、将来都市像の実現を図る。そして先人より受け継いだみどりを未来の子供たちへつなげていく。
具体的には、
 - ①みどりの保全・・・自然豊かなみどりを守り育てる。
 - ②みどりの創出・・・まちにみどりを増やし、潤いと安らぎをつくる。
 - ③公園等の整備・・・親しみのあるみどりをつくり、活用する。
 - ④生物多様性の確保・・・生物多様性に配慮したエコロジカルネットワークを構築する。

⑤みどりの活動の推進・・・みどりを愛しみ、共にささえる。

2 みどりの現況

所沢市の面積の内40%がみどりの面積である。

○道路（県道、市道）などの街路樹 　ただし管理が難しい。費用の創出。街路樹の選定。伐採の基準。近年、気候変動により倒木の被害が多くその処理費用負担が生じる。

○公園等の植樹。グランドの周辺。農地、樹林地（11%）

みどりの面積は

1965年頃には、1944ha（市街化調整区域）、1985年1137ha、2017年は830haと減少してきた。多くは宅地化や道路の新設や拡幅、大型店舗の増加などにより農地や樹林地が減少したといえる。

樹林地の成り立ち

江戸以前は、一面の原野（原っぱ）で土地はやせて、水源もなく作物の育たない土地であり、樹木もなかった。江戸中期、柳沢吉保が川越藩主になり新田開発に取り掛かる。畑地の周りに、すべて人手による植林がおこなわれ、農民により畑の乾燥防止が行われる。主に広葉樹の落ち葉を畑にまき、たい肥として、土にかえし、大変長い年月をかけて作物ができるように努めた。（三富新田）

3 みどりの取り組み

みどりのパートナー制度 みどりの保全・緑化の推進を自発的に活動を行う個人・団体に「みどりのパートナー」として、市に登録し、活動してもらう。

みどりの街づくり 戸建ての庭・集合住宅の植樹・大型店舗・工場や事業所などのスペースにみどりを作る。

みどりには街の景観づくり、火災の延焼防止や地震などの自然災害の際の避難場所、ヒートアイランド現象の緩和や様々な野生生物が息づく場所を提供できる機能がある。

みどりのカーテンづくり 夏の暑さ対策として推奨

生き物呼び込む庭造り ガーデニングやとことこガーデンなど。

4 生き物の多様性

生物多様性は生き物の豊かさにつながりのこと。

190以上の国と地域が「生物多様性条約」を締結して、生物多様性を守るための取り組みが世界や日本で進められている。

生物多様性には3つのレベルそれぞれの多様性を守る必要がある。

① 生態系の多様性

樹林、草地、湿地、河川、干潟 など

② 種の多様性

さまざまな種の生き物、(動物、植物)が生息、生育

③ 遺伝子の多様性

同種であっても、地域や環境などによって遺伝子レベルで違い

おわりに

みどり自然課の少しでも所沢のみどりをより良い状態で保全し、さまざまな生き物がさらに豊かで、潤いのある街づくりの一翼を担っているか理解できました。われわれも「絆・自然・文化」元氣あふれるよきふるさと所沢を実現し、人と自然が調和し、誇りを感じる所沢にしたいと講義をしめた。

質疑応答

1 面積の表記

Ha 表記だが、具体的にどのくらいの広さかわかりづらい。例えば東京ドーム何個分とか説明してもらえるとわかりやすい。

今後は皆さんにわかりやすい表記を心掛けたい。

2 街路樹の伐採

ケヤキ並木がいつの間にか伐採されて、夏は日陰になって歩きやすかったのに、なぜ伐採したのか。

県道は県の管理なので理由が分からないが、多分伸びすぎて倒木の恐れや電線に触れる等の問題があったと思われる。

3 ナラ枯れについて

樹林のならば虫害により枯れているが、みどり自然課ではどのように対処しているのか。樹林の調査で見つければ、虫害にならないように幹を保護するが、すべてののらの木を調査できない。また数十年ごとに此の虫害は起こるので、自然に任せるしかない。

4 マンション前の樹木が倒れそう

私有地内であれば管理者に相談する方法がある。近年豪雨や強風で倒木被害が多いので気を付けたい。

本日の講義は身近なみどりに関する内容だったので、盛会でした。

参考 配布資料

みどりのふれあいマップ・所沢市みどりの基本計画・みんなでつくろうみどりの街～緑化の手引書～・生物多様性ところざわ戦略

担当 Bグループ 佐野弘太郎、梅津博紀、岡戸房子